



プラットフォームサービスに係る利用者情報の取扱いに関するWG

トレジャーデータCDPと プライバシー保護に向けた取り組み

2021年12月1日
トレジャーデータ株式会社

会社・サービス紹介

日本、アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、インド、ベトナム、韓国、APAC各国で展開
各拠点とシームレスに連携し、エンタープライズ企業のグローバル対応をトータルにサポート

Treasure Data inc.



設立 2011年12月

所在地 Mountain View, California, United States

従業員数 約500名(2021年10月)

トレジャーデータ株式会社



設立 2012年11月

代表者 代表取締役会長 三橋 秀行
社長執行役員 三浦 喬

所在地 東京都千代田区

従業員数 約200名超(2021年10月)

arm acquires
Treasure Data
2018

SoftBank Vision Fund II-2 L.P.

2021年6月：正式にSoftbank Vision Fund 2のメンバーに

+450 Customers

Coverage



APAC

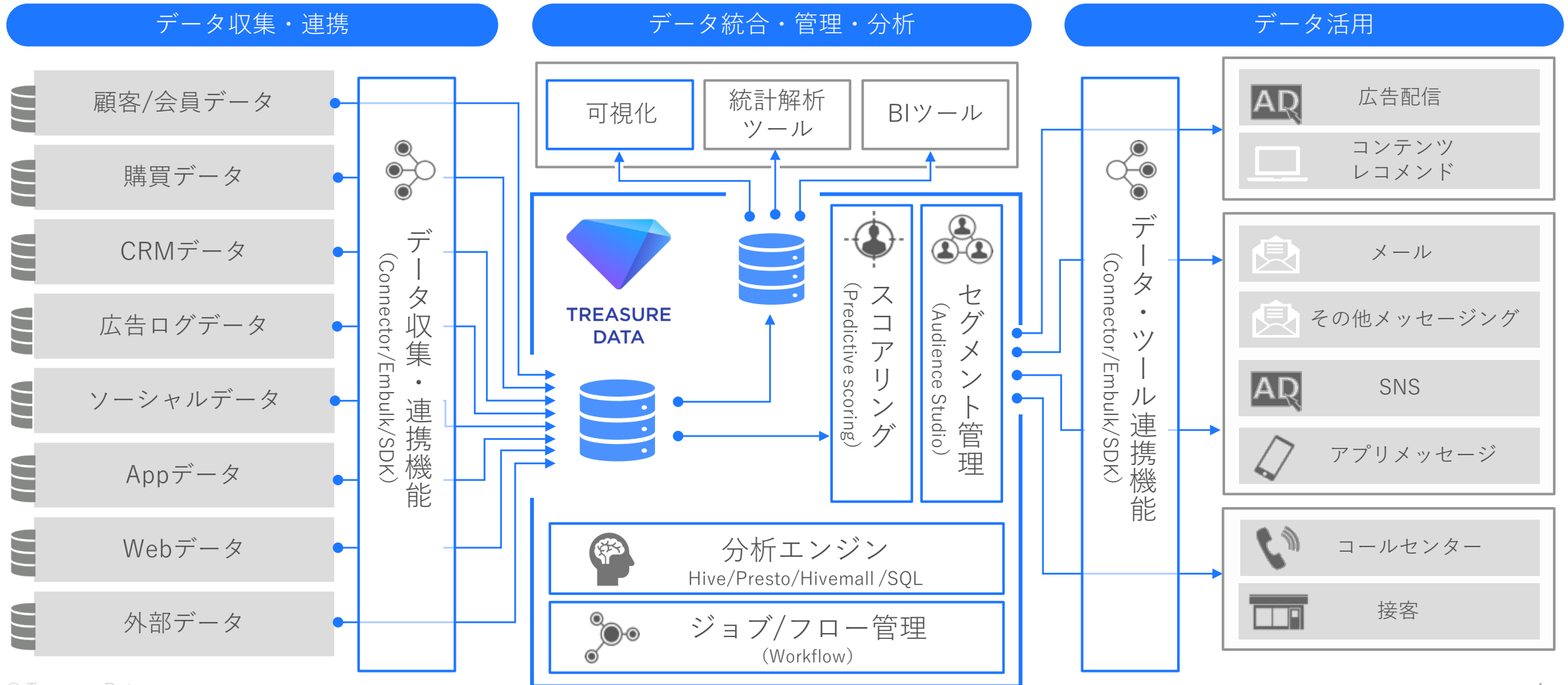
Compliant with



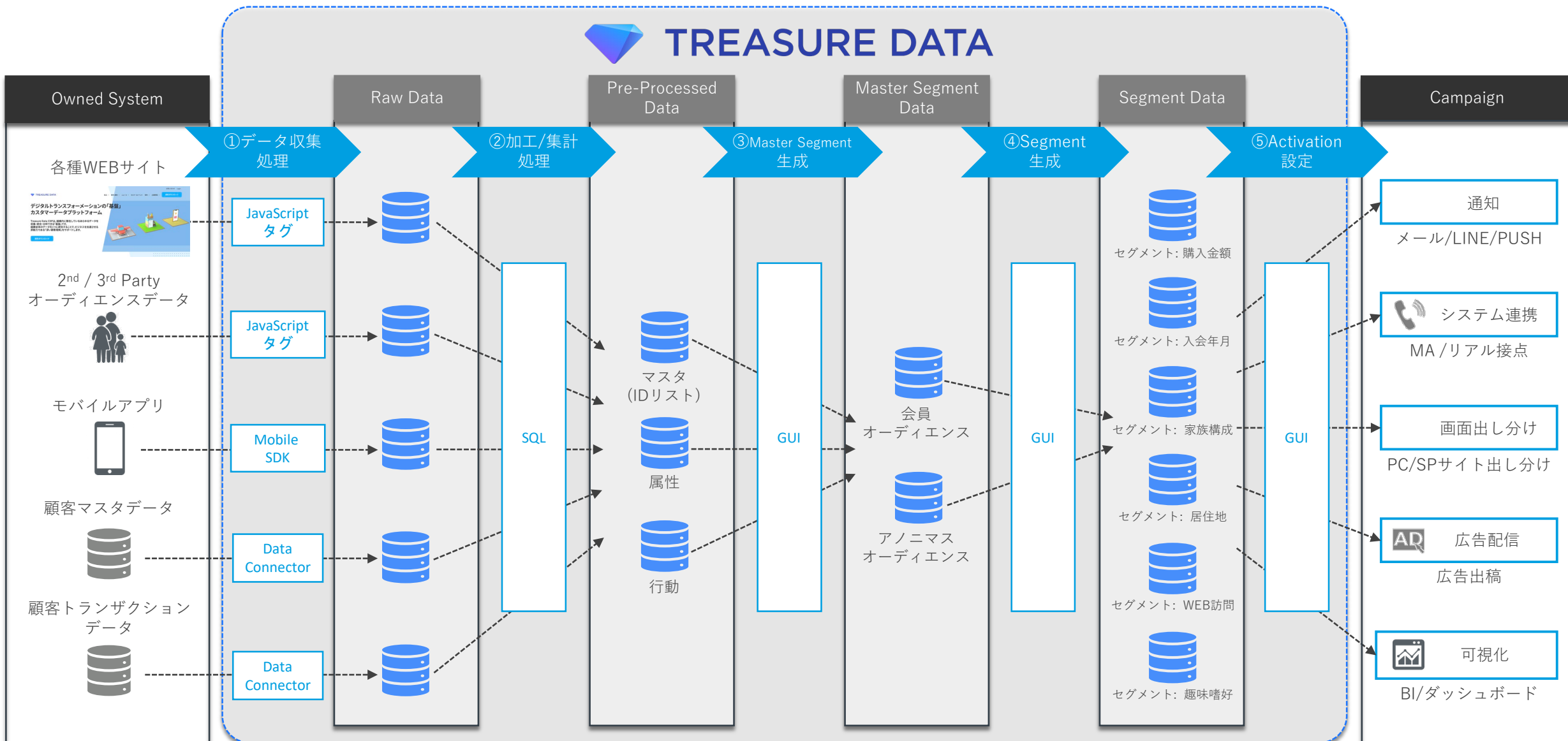
トレジャーデータ CDPの全体像

多種大量のデータを収集し、統合・管理・分析と利活用をワンストップで実行

- CDP連携機能
- CDP機能
- 連携先



Treasure Data内でのデータフローイメージ



(参考) 一般的なデータ統合KEY種類の紹介

異なるデータの統合には共通KEYが必要となり、特性とデータボリュームが異なる

	Known情報		Unknown情報			
データ例	メールアドレス	その他 (電話番号など)	Cookie (Web)			モバイル広告識別子 (アプリ)
特性	アンケート、購買時の登録情報などユーザーから取得している個人情報レベルで確実性の高い情報 メアド以外でも、電話番号、生年月日、郵便番号、住所、(名前)などから、いくつかのデータ種の組み合わせで名寄せ処理を行うことも可能 情報を提供しているユーザーの貴社へのLoyaltyも高いことが想定され、粒度が細かいことに加え顧客分析上も価値がある	顧客のブラウザ環境に依存せず、TD側で発行できる1st party Cookie 7日間に制限されるSafariの1st Party Cookieの有効期限を最大2年間に延長することが可能 3rd party に比べてブラウザ上で受け付ける際の制約が少なく、同一ブラウザ識別の精度が高いため、同一ユーザーのトラッキング/顧客分析に適している	TDのJSSDKをWebサイトに埋め込むことで発行可能な1st party Cookie。 3rd party に比べて、ブラウザ上で受け付ける際の制約が少なく、同一ブラウザ識別の精度が高い。しかしながら、Safari以外では2年間存在する有効期限が、Safariでは7日間に制限されるため、ユーザーの断片化が発生する。	TDのJSSDKをWebサイトに埋め込むことで発行可能な3rd party Cookie。 ドメインの制約を受けず共通KEYになりうるが、近年はプラットフォーム側のポリシーで終息傾向であり同一ブラウザ識別の精度が低いといえる。 (現時点の有効期限は、Safari等は24時間、Chromeは2年間)	様々な要因により書き換えが発生するCookieに比べ、アプリから取得可能な広告識別子は、端末につき一意で、有効期間が長いことも特徴。外部事業者との連携にも多用されるデータ。 ただし、iOSにおいては、IDFAのオプトイン必須化により、ユーザー自身が明示的に認めたアプリ以外はIDFAを取得できなくなる。	
想定ボリューム	少	少	中	大	中	

これらのデータを組み合わせて統合することで、一意個人としてのデモグラフィック・サイコグラフィックを捕捉する

TD JS SDKで取得可能なCookie一覧

	Server-side 1st party cookie	Client 1st party cookie	3rd party cookie
Cookie名	td_ssc_id	td_client_id	td_global_id
ID発行元	訪問サイトのドメイン		Treasure Data
有効期限	2年	Safari および iOS14以降のOS上で動作する すべてのブラウザ: 7日 <small>(下記の条件*に合致した場合は、24時間に制限)</small> その他: 2年	Safari および iOS14以降のOS上で動作する すべてのブラウザ: デフォルトは即時無効 Chrome: 2年 その他: 24時間
ドメイン跨ぎ可否	不可		可能
精度	3rd party cookie に比べて ブラウザ上で受け付ける際の 制約が少なく、 同一ブラウザ識別の精度が高い	3rd party cookie に比べて、 ブラウザ上で受け付ける際の 制約が少なく、 同一ブラウザ識別の精度が高いが、 Safari および iOS14以降のOS上で 動作するすべてのブラウザでは、 ユーザーの断片化が発生	3rd party cookie を受け付けない ブラウザでは、アクセスごとに 異なるIDを付与されるため、 同一ブラウザ識別の精度が低い

条件*: 下記①～④のすべてに該当した場合は、Client 1st party cookieの有効期限は24時間に制限される

- ①クロスサイトトラッキングを実施していると分類されたドメインからの流入であること
- ② example.com?hoge=fuga (URLパラメータ) や example.com#hoge (フラグメント識別子)のようなリンクデコレーションを付加してLPに流入していること
- ③リンクデコレーションで渡された値がCookieにセットする値と一致していること
- ④JavaScriptで document.cookieに1st party cookieとして書き込んでいること

- トレジャーデータCDPは導入時点ではデータは入っていない
- データ収集や加工、外部の広告プラットフォームやマーケティングオートメーションツールへデータを連携するための機能を提供している
- トレジャーデータ自身では顧客のデータを利用や操作をすることは、Data Processorとして行う業務以外には行わない
- プライバシー保護やコンプライアンス遵守に向けては、適切な情報発信や必要な機能の提供を行うことで、実現を促している

—— プライバシー保護関連機能

個人情報
取扱事業者
の義務

データ収集時の義務（概要）

利用目的の特定・制限・通知、適正取得など

- 利用目的をできる限り特定する
- 本人の同意を得ないで利用目的の範囲を越えた利用をしてはならない
- 偽りその他不正の手段により取得してはならない
- 取得に際しては利用目的を通知すること

データ保管時の義務（概要）

安全管理措置、従業員・委託先の監督、第三者提供の制限、開示・訂正・利用停止など

- 個人データの安全管理のため適切な措置を講じる
- 本人の同意なく第三者に提供してはならない
- 個人情報に関する問い合わせに対応できるようにしておく
- 開示請求があれば開示する
- 個人データが事実でない場合は、訂正・追加・削除する
- 取得や第三者提供に違反があれば、利用停止・消去をする

Treasure Data
が提供する
ソリューション

Consent Management Solution

セキュリティパッケージ

- Audit Logs (Advanced)
- Policy-based Permissions (Premium)
- Authentication (Advanced)
- Treasure Insights Viewer

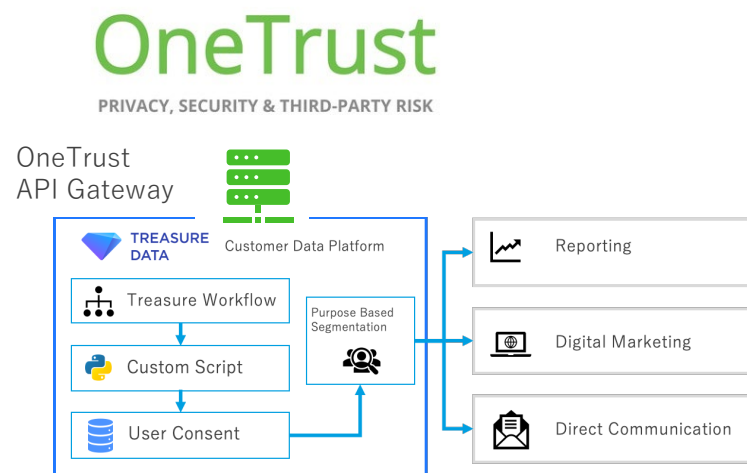
Consent Management Solutionが提供する機能には、データ保管時の義務を履行するために必要となる機能も含まれており、セキュリティパッケージとあわせて利用いただくことで、個人情報のより適切かつ厳格な管理が可能となる

トレジャーデータCDP上のGDPR対応

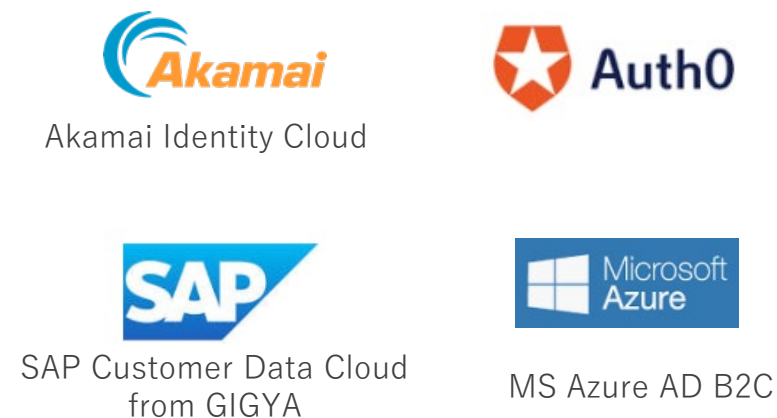
権利	手法	実装方法
同意 Consent	<ul style="list-style-type: none"> CIAMやConsent Managementツールと連携 e.g. OneTrust, Gigya 個人の各種同意状況をTD上のDBで一元管理 TD上のDBから同意状況を各アプリケーションへ連携 	各ベンダーの提供するAPI等を活用しつつ、個別カスタマイズ / Consent管理ツールとの連携を容易にする仕組みを構築している。
アクセス権 Access	<ul style="list-style-type: none"> Raw dataから特定のID等に紐づくデータ履歴を抽出 	TD利用時のDB構造に応じて個別カスタマイズして実装可能。csvやjsonファイル形式にするパターンが多い。
訂正権 Rectification	<ul style="list-style-type: none"> 活動データを更新ないし、削除 更新されたデータに基づく施策を個別媒体毎に実現 	SQLを活用し、データの削除、追加が可能。弊社がご用意するコネクターを介して、リモート環境にも更新したデータを送信できる
削除権 Erasure	<ul style="list-style-type: none"> レコードを削除 データの匿名化 	データの持ち方に応じて実装する。最も多いのは <ul style="list-style-type: none"> 個人に付与されているTD共通IDを置き換える イベントとしてのローデータは保持しつつ、個人と紐付ける情報を消去 上記とは別に削除請求対応用の専用機能も提供予定
制限権 Do Not Track	<ul style="list-style-type: none"> SDKを停止させ、イベントログ収集をやめ、 イベントログを廃棄 	SQLを使い、特定のログ収集を廃棄可能。また、既にTD SDKに実現のための機能が盛り込まれている。
通知 Notification	<ul style="list-style-type: none"> TD CDPに格納されたデータを用いて、通知すべき相手に対してどのようなメールや広告が配信されたかを3rdツールにデータを連携 	左記の説明の通り。施策データを時系列で保持可能、かつ相手先を特定可能。
自動化された個人の判断に関する権利 Restricting, Objecting, Profiling etc.	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報を活用したマーケティング施策等様々な施策をオプトアウト 他システムへのデータ配信を停止 アプリケーション側でも修正は必要 	オプトアウトをユーザーした際の情報を各アプリケーションに対して自動連携する仕組みを構築。要望があればデータの持ち方に応じて個別カスタマイズする。

GDPR、CCPAに対応すべくトレジャーデータは、早期からCMP (Consent Management Platform) およびCIAM (Consumer Identity Access Management) のグローバルベンダーと連携し、CDPと個人情報同意とのデータ連携を行うことのできる機能を提供

CMPツールの代表的なベンダー



CIAMツールの代表的なベンダー (IT/Security領域)



利用者からの同意取得方法、オプトアウト方法

- トレジャーデータCDPの環境は、ユーザー企業ごとに準備されており、ユーザー企業がデータを所有、管理しています。
- 同意取得やオプトアウトに関して、トレジャーデータはガイドラインを提示して、ユーザー企業側でオプトアウト画面などの準備をお願いしています。

Cookie オプトアウトの日本における実務

JIAAの定める「行動ターゲティングガイドライン」に則る場合が多い

Japan Interactive Advertising Association

行動ターゲティング広告ガイドライン

2016.05

2008-2009年策定、2010年改定、2014年改定、2015年改定、2016年改定

JIAA 行動ターゲティング広告ガイドライン (PDFファイル: 2714KB)

(利用者関与の機会の確保)

第5条 広告提供事業者は、利用者に対し、広告提供事業者が行動履歴情報を取得することの可否または広告提供事業者が行動履歴情報を利用することの可否を容易に選択できる手段（オプトアウト）を、自らの告知事項を記載したサイト内のページから簡単にアクセスできる領域で提供する。

2 媒体運営者は、自らのウェブサイト等の分かりやすい場所に、広告提供事業者の告知事項を記載したページへのリンクを設置することにより、利用者に対し、前項の手段（オプトアウト）を提供する。

© 2020 Treasure Data

TD版 オプトアウト設定ページの例(p.5 各社オプトアウトのリンク先)

※ 実態に即して個社でカスタマイズする必要があります。
必ずコンプライアンス部門と相談の上、対応をお願いします。

Treasure Data CDPにおける弊社でのデータ利用について

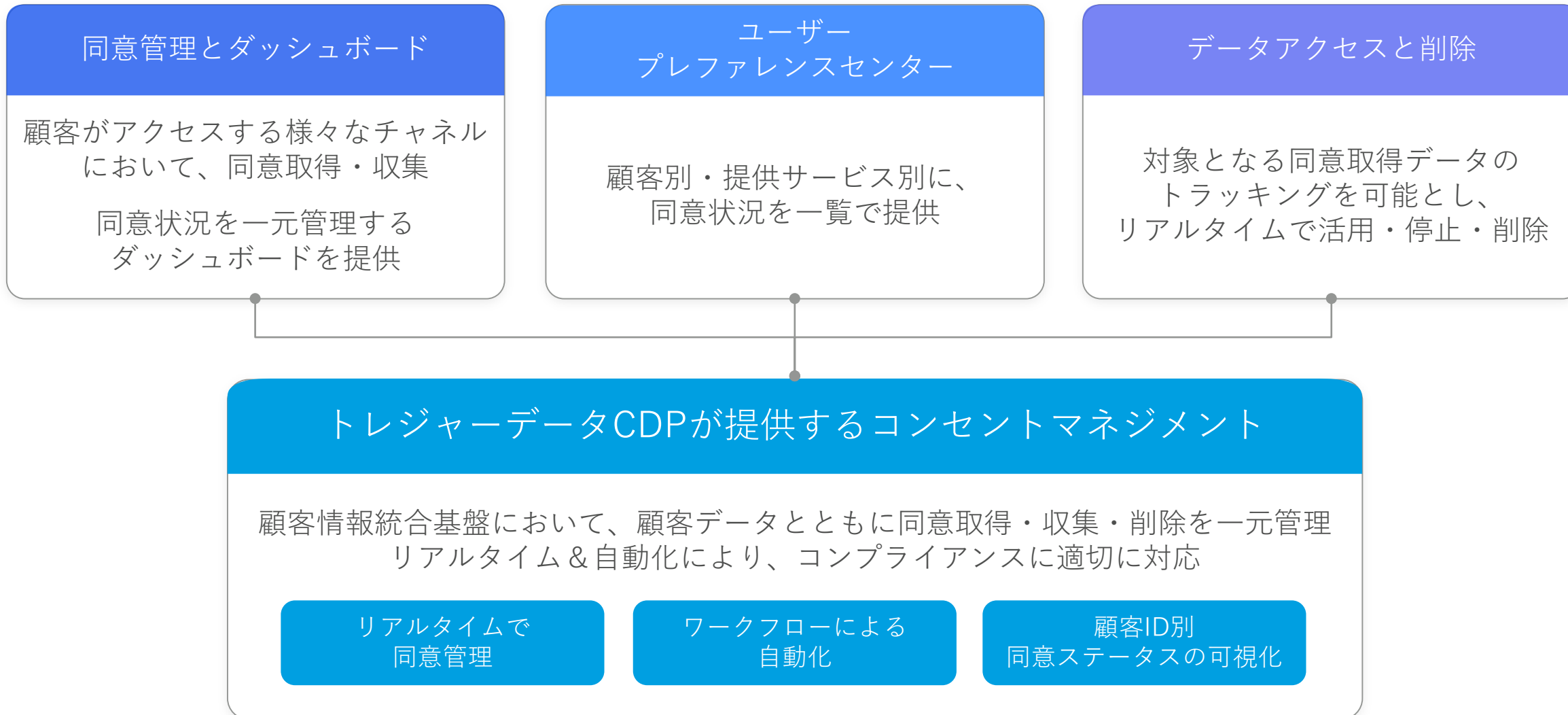
弊社ウェブサイトでは、Treasure Data CDPを利用してアクセスデータを収集し、最適なコンテンツ配信及びターゲティング広告配信の目的に利用しています。

Treasure Data CDPにおけるデータの取扱については[こちら](#)でご確認いただけます。

Treasure Data CDPを利用したアクセスデータの収集を停止したい場合は、下記ボタンにて収集停止手続きを実施ください。

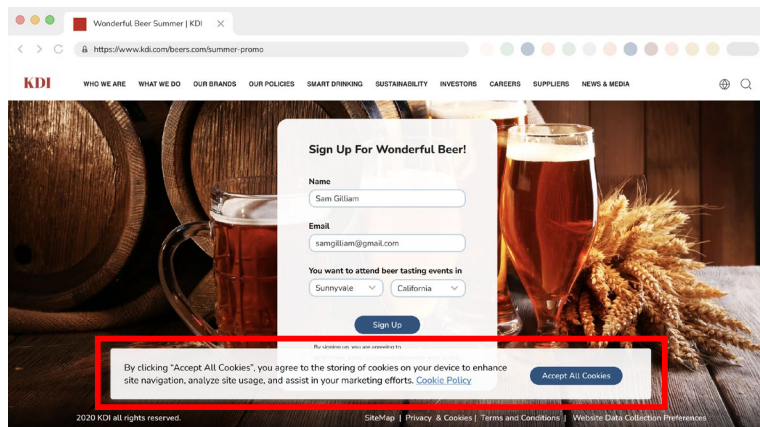
© 2020 Treasure Data

Consent Management Solutionの主要機能

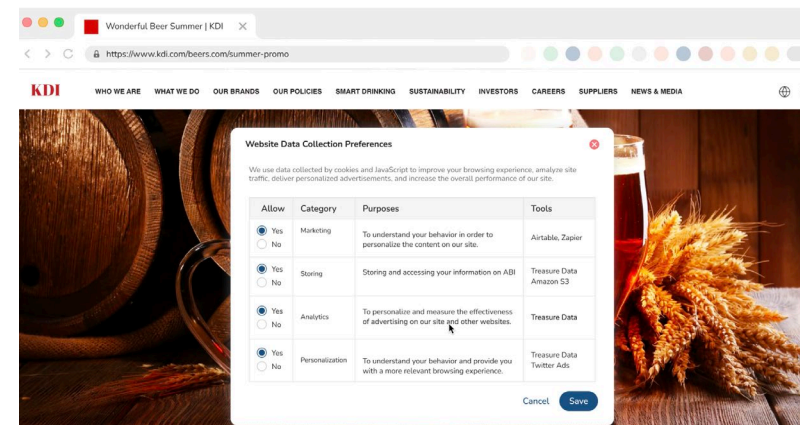


顧客側に表示される画面イメージ

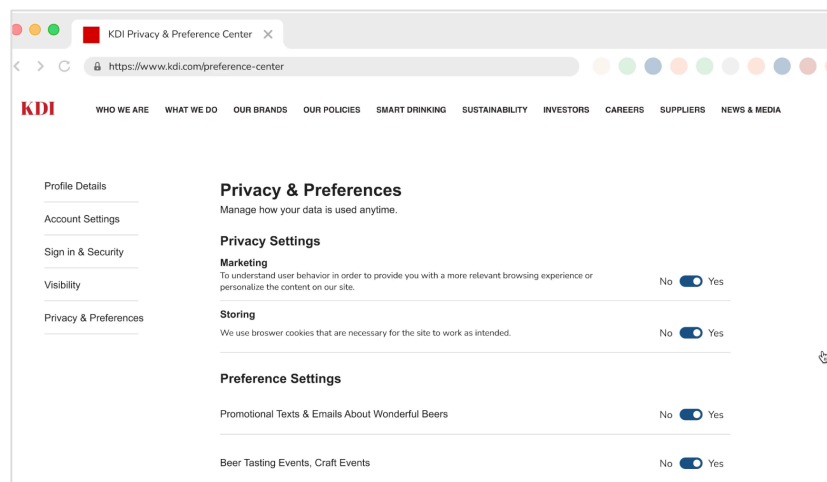
同意取得画面



Cookieに関する同意設定画面



すべての個人情報に関する ユーザープレファレンスセンター



—— その他 法令遵守に向けた取り組み

(1) サービスの位置づけ

当社ではカスタマーデータプラットフォーム（CDP）と呼ばれる、データベース基盤のサービス提供を行っております。CDP内に保管されるパーソナルデータは当社の顧客企業が管理・保有するデータであり、広告配信等のマーケティング活動、CRM施策等は各顧客企業の裁量により行われます。技術サポートやシステム運用等、当社サービスの運営上最低限必要な統計情報やログへのアクセスを除き、当社顧客が収集したデータを当社が使用することはなく、当社によるデータ利用は厳しく制限されています。

(2) 公開している規程や方針の概要

[Terms of Service](#)

CDPサービスをご利用される企業に前もって同意いただく利用規約であり、文書内で関連法令の遵守を定めています。

出所

<https://www.treasuredata.co.jp/privacy/personal-information-protection-documentation/>

[Consumer Statement](#)

顧客企業の指示により当社の環境中に保管されるデータの取扱いについて説明を行っております。

顧客企業が利用規約に基づき利用している環境の中には、顧客企業によって当該顧客企業のお客様（個人）に関連するデータが保管されることがあります。当社はそうしたデータの不正な開示、使用、改変、アクセスを防止することに努めており、具体的な取扱いについての説明を本文書で行っております。

具体的に保管されるデータとしては、顧客企業が自ら収集して当社の環境にアップロードしたデータ、及びそれらを補完するために追加された外部データ等があります。当社は顧客企業との契約上、サービスを提供するため、または顧客企業からの指示があった場合を除き、顧客企業のデータを第三者に開示しない義務を負っております。詳細は原文をご覧ください。

[個人情報保護方針（日本語）](#)

[個人情報に関する公表文（日本語）](#)

[インフォマティブデータの取扱いについて（日本語）](#)

トレーニングプログラム内での外部弁護士による講義

自社セミナーにて外部弁護士セッションを提供

22:24 5G

treasuredata.co.jp

TREASURE DATA

トレジャーアカデミーにリーガルコンテンツを追加し、コンプライアンス関連トレーニングを強化

英Armの日本法人であるトレジャーデータ株式会社(以下 Treasure Data)は、データ活用におけるプライバシー保護とセキュリティに専門特化したコンサルティングファームであるTMIプライバシー&セキュリティコンサルティング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:大井哲也、以下 TMIプライバシー&セキュリティコンサルティング)と協業し、パートナー企業及び顧客企業向けの有償トレーニングサービスであるトレジャーアカデミーにリーガルコンテンツの提供を開始します。Treasure Dataは今後、国内で最も高い市場シェアを有するカスタマーデータプラットフォーム(CDP)の提供と、コンセンスマネジメントの日本における普及を推進し、ビジネス成長とプライバシー配慮を両立させたビジネストランスフォーメーションを加速させていきます。

トレジャーアカデミーでは企業における顧客接点の高度化や業務の自動化等、ビジネストランスフォーメーションを進める際に欠かすことのできない、CDPの知識や導入ノウハウをエンジニ

22:24 4G

treasuredata.co.jp

TREASURE DATA

Treasure Dataではデータ活用の企画段階からプライバシー保護関連法を理解した上で施策立案を行う必要性を強く認識しており、この度トレジャーアカデミーにリーガルコンテンツを追加することを決定しました。

<プログラム内容>
以下、4つのプログラムをトレジャーアカデミー内で提供いたします。

1. 基本編(ビデオ講義):個人情報保護法解説、ビッグデータ利活用事例及びトラブル事例、適法なデータ入手、加工、第三者提供、等
2. 応用編(ビデオ講義):改正個人情報保護法、GDPR等諸外国のデータ保護法、JIAAガイドライン
3. データマッピング(演習形式):データマッピング及びリスク分析
4. プライバシーポリシー・クッキーポリシーの作成(演習形式):消費者視点での適切なポリシー作成

Treasure Dataが提供するカスタマーデータプラットフォーム(CDP)は、顧客一人ひとりのデジタル上おとびプラットフォームの稼働からもたらされ

PLAZMA by TREASURE DATA インタビュー 基礎知識 データ活

改正個人情報保護法への対応：Archived Sessions

緊急解説！令和2年改正個人情報保護法ガイドライン(案)のポイント

森・濱田松本法律事務所
(動画：1時間1分45秒)

2021年5月19日、個人情報保護委員会より2022年4月1日に施行される改正個人情報保護法のガイドライン案が発表されました。森・濱田松本法律事務所の田中浩之弁護士がこのガイドライン案を速報的に解説しました。

詳細を見る

緊急解説！令和2年改正個人情報保護法ガイドライン(案)のポイント

2021年5月19日、個人情報保護委員会より2022年4月1日に施行される改正個人情報保護法のガイドライン案が発表されました。既に公表されている法案と合わせて、施行に向けた対応のための情報がほぼ出揃った状況です。森・濱...

PLAZMA by TREASURE DATA インタビュー 基礎知識 データ活

改正個人情報保護法とCookie規制

TMI総合法律事務所
(動画：47分25秒)

改正個人情報保護法によって、これまでのマーケティングやCRMをどのように変えていく必要があるのでしょうか。TMI総合法律事務所 パートナー弁護士の大井哲也氏がCookie規制に関するよくある質問に答えながら、改正個人情報保護法のポイントを解説しました。

詳細を見る

PLAZMA 「改正個人情報保護法とCookie規制」

改正個人情報保護法によって、これまでのマーケティングやCRMをどのように変えていく必要があるのでしょうか。TMI総合法律事務所 パートナー弁護士の大井哲也氏がCookie規制に関するよくある質問に答えながら、改正個人...



Thank you